

36days_story **How to Succeed with Her ?**

36days_story
You Serizawa

Thank You for Your Download !

はじめまして、芹沢 悠（せりざわ ゆう）という者です。

この度は、この無料レポート

“36days_story” をダウンロードして頂いてありがとうございます。

ヘンな洗脳術や催眠術みたいなマニュアルとか

あと役に立たないクズみたいなレポートが多い中、

僕を信用し、レポートをダウンロードして頂いてありがたい次第です。

サイトにも書いてあったんですけど、

無料レポートをあなたに読んで頂くにあたって、

音声ファイル配ろうかどうか実は相当悩みました。

まあ、それはサイトにも記述した通りですし、

今回やらなかった理由もサイトに記述した通りです。

なんだかんだいろいろ考えながら、

僕は今日のレポートをあなたに提供しようと思い立った

次第であります。

そう、「好きな女性を 36 日で落とした実録」という、

生々しい真実のみを書いたレポートを。

しかもこの女性は、
はじめは僕にまったくと言っていいほど気がありませんでした。

そして、2回ぐらいこの女性と関係を深めていく上で
ピンチを迎えてしまっています (笑)

一体どうやって、ドン底から這い上がってきたのか？

どうやって惹き付けていったのか？

なぜ、女性を落とすことができ、付き合えるようになったのか？

さらに、実際にやり取りして女性からもらったメールを使いながら、
感情がどのように揺れてきているのかをあなたは目の当たりにすることができます。

あ、ちなみに「何日目に連絡先聞きました！」とか、
「何日目にデートしました！」とかそういった表面的なレポートではありません。

「何日目ぐらいにこういった接し方をして、彼女の感情をこういう風に動かした」
みたいな、モロ女性を惹き付けているリアルな接し方を書いてます。

この接し方を知ることができるということは、
あなたにとって大きなチャンスだと思います。

なぜなら、女性の感情の動かし方なんて説明できる人間はいないから。

「女性はこうやって惹き付ける」ということを説明できる人間がいないからです。

試しにその辺の恋愛コンサルタントなる人に聞いてみてください。

「どうやって女の人の感情を動かすんですか？」って。

多分、「聞き上手になりなさい」とか、

そういったありきたりなこと言われるハズですから。

それか、アヤシイ心理術みたいな、

はたから見たらキモさ120%のワザを教えられるか(笑)

あなたが必要なのは、

キモい催眠術や洗脳術、そして役に立たない小技じゃありません。

女性の感情を動かす方法です。

ダイレクトに女性の感情を動かし、

ダイレクトに女性に好かれてしまう方法を、

あなたは今学ぶべきなんです。

シンプル・イズ・最強。

本気でヘンな催眠術とか洗脳術とか学んでるヒマがあったら、

ダイレクトに感情を動かす方法を学んだ方がいい。

36days_story **How to Succeed with Her?**

女性の感情を動かし、惹き付ける接し方や方法を学ぶことが、
あなたの好きな女性、タイプの女性を落とせる一番の早道だということを
まずはしっかりと頭に叩き込んでおいてください。

だから、これから先僕は「感情を動かせ！」しか言いません(笑)
多分、これから僕と付き合っていく上でそれは分かってくると思いますが。

「感情を動かせ！」という1つの大きな大きなズ太い一本軸を元にして、
あなたに恋愛の真実を余すことなくいろんな角度からお話していきます。

「感情を動かす」ということを軸に話をしているので、言うことがブレないし、
あなたも理解やイメージがしやすくなる。

理解やイメージがしやすくなれば、
それだけあなたは僕が話したことを実行しやすくなります。

結果、あなたが何人ものタイプの女性・好みの女性をバンバン落とせるような、
魅力的な男性になることができます。

前置きが長くなってしまいました(汗)

今回お話するのは、僕が1～2年前ぐらいに落とした、
エマちゃん(仮)という女の子を36日で彼女にしたお話です。

あ、フツのレポートみたいにしようと思いましたが、
それじゃ面白くないなと思ってストーリー仕立てにしてみました(笑)

36days_story **How to Succeed with Her ?**

だから、結構キモいクサイかもしれません(汗)

でも、読みやすさはバツグン、
理解のしやすさもバツグンだと思います。

まるであなたがその女の子を落としにかかっているかのような
臨場感をたっぷり味わってもらい、トリップしてもらおうと思います。

史上初、あなたを女性を落とすその瞬間に立ち合わせ、
トリップさせる無料レポート。

そして、体感する感情の錯綜・交差・絡み合い。

あなたはその辺の恋愛マニュアルでは味わえない大きなものを、
このレポートで体感することができるのです。

キモさやクサさはちょっと置いといて(笑)

さあ、今から僕と旅に出ましょう。

大好きでカワイイ女の子を落とし、
自分のモノにする人生の中で最もエキサイティングな旅へ…

(あ、もう既にクサキモいかもしれません笑)

Her Name is “EMA”

それは、僕がとあるコールセンターで
オペレーターを管理する仕事に就いてた時の話。

夏はもう終わりに近づき、
あと一週間ほどで9月を迎えようかという頃だった。

僕が働いているセンターは、鬼のように電話が鳴るセンター。
毎日がてんてこ舞いである。

そんな状況に追い討ちを掛けるかのように、
数名のオペレーターのアルバイトが8月の半ばぐらいに辞めてしまった。

ハッキリ言ってかなりツライ状況である。

なので、急遽新たなバイトを募集し、
今日新人が入ってくる予定である。
これで少しは忙しさが紛れてくれるといいが…。

「さて、どんな新人が入ってくるのかな…」

そんなことを考えながら、
僕は新人の研修の準備をしていた。

そして、いよいよ研修スタートの時間。
新人が出社してくる時間だ。

3～4人が一斉にセンターの中に入って来た。
そして、僕もそちらの方を眺めていた。

と、その時。

僕は、一人の女の子に目が留まった。

スラッとした、170 cmはあるだろう細い長身に
ふわっとウェーブがかかった黒い髪。

そして、青いアイシャドーを入れたその目は大きく、
ちょっと困ったようなカワイイ顔つきがさらに僕の目を惹き付ける。

「カワイイ…！」

僕は一瞬で彼女に惹き付けられてしまった。

「この子が今からこの現場で働くことになるのか、これは楽しみだ…！」

クソ忙しい毎日でイライラが募っていたが、
この子がバイトに入ってくれるならなんとか楽しくやっていけそうだ。

しかし、最悪なことに、
その子の研修は別の担当が就くことになり、
僕はどーでもいい男のフリーターを相手にしなければならなくなった。

そして研修終了後、
即座に彼女の名前を調べてしまった。
僕がこんな行動に出ってしまうなんて珍しい。
完全に舞い上がって取り乱している(汗)

僕はおもむろに新人名簿を開き、彼女の名前を調べた。

彼女の名前は中村恵麻。

「エマ？変わった名前、外人みたいだな」

そう言えば身長も高いし、
目もパッチリ大きいからひょっとしたらハーフなのかもしれない。
いや、でも顔は思いっきり日本人顔だが…

とりあえず、その日はカワイイ子が入ったということで、
小躍りしながら家路についた。

後々知ったことだが、
彼女は大学4年生で卒業までの期間
ここでバイトをしようと思い入社してきた訳である。

そして、これだけカワイイのに付き合った人数はたった1人。

さらに、処女。

(これは付き合ってから知ったことだが)

そう、超オクテの女の子である。

僕の経験からすると、

結構オクテの女の子は落としにくい。

なぜなら、恋愛感情が芽生えにくいから。

オクテの女の子は恋愛感情が芽生えにくく、

なかなか惹き付けにくいという特徴がある。

この女の子を落とすとなると…

正直、手ごわい(汗)だから、

「いかにして感情を動かし、僕のことを好きになってもらうか？」

これが非常に重要なテーマとなるし、

僕はそうやって今まで好きな女性・タイプの女性をバンバン落としてきた。

感情を動かすことで、普通だったら絶対に振り向いてくれないような女性や

2ランク3ランクも高いレベルの女性を落とすことができた。

今回はどうだろうか？

上手くいくのだろうか？

相手は確実に手ごわい。

まあ、やるだけのことをやってみるまでである。

今回も「感情を動かす」接し方を念頭に置いて、
彼女との関係をいい方向に持っていければと思うが…。

Chilling Demon

こういうカワイイ女の子に目をつけると、
僕の中で必ずある悪魔がささやきかけてくる。

「おい、お前、あの女の子のことを好きになったのかい？」

ほら、ささやきかけてきた。

「どうせ彼氏いるんじゃねえの？ハハツ（笑）」

それも知らねえで一人で舞い上がってるなんざバカじゃねーの？」

この心の悪魔はなおもこう続ける。

「ていうか、別にかわいくねーだろ、あの女。

お前、あんなの落とせなかったら末代までの恥だな(笑)

まあ、せいぜいがんばれよ、シシシシシ…(笑)」

この悪魔はいつもこうだ。

僕が誰かを好きになる度にこうやって横から水を差してきて

僕にこんなことをささやいてはどこかへ消えてしまう。

悪魔は僕にイヤなことをしているつもりだろうが、

僕はこの悪魔を大いに活用している。

というか、大きな助けとなっている。

なぜなら、この悪魔がこうやってささやくことで、

自分の気持ちを鎮めることができるからだ。

こういう悪魔がこうやってささやいてくれることで、

僕の気持ちは少し鎮まり、どんなにカワイイ女性の前でも

臆することなく本来の自分どおりの接し方ができる。

ハッキリ言って、女性の前でアガってしまって

緊張しながらぎこちなく話してしまうと、それだけで

相手を遠ざけてしまうことが多い。

なぜなら、その緊張が伝わってしまうから。

その緊張が相手に伝わってしまい、
相手に妙な違和感を与えてしまうからだ。

「なんでこの人、こんなにぎこちなくしゃべるのかしら？」

女性にこう思われてしまったらひとたまりもない。

なぜなら、そこで「ヘンな人」という風に、
女性から警戒されてしまうからだ。

女の子が好きな男に対して緊張しながらしゃべるのは、
見ててカワイイものがある。

しかし、男が緊張しながら女の子に話しかけるのは、
見ていてどこか頼りないし、女性はその男性と一緒にいたいとは思わないだろう。

だから、目当ての女性を落とそうと思ったら、
なるべく緊張せずに心を落ち着いた状態で話すのが望ましい。

この悪魔は僕の邪魔になっているどころか、
むしろ僕の手助けになっていることなんて夢にも思っていないだろう(笑)

おそらく、次会った時は彼女と緊張せずに話すことができると思う。

「ああ、早くエマちゃんと話がしたい…！」

そして僕は床に就いた。

エマと僕が出会った、第1日目である。

Bad Party

エマが僕のセンターのアルバイトに入って数日は、
彼女の分からないところに答えてあげたり、こまごまとした
仕事をお願いしたりして接していった。

そこで、僕とエマはちょこちょこ仲良くなっていった。

そして、僕は周囲に、

「あの子さ、めっちゃかわいくない？」みたいなことを、
まるで子供が自分のおもちゃを自慢するような感じで周りに
冗談っぽく言って回った。

実は、こうやってかわいいと思った女の子を

「かわいい」と口に出すことはとても大切である。

不思議とこうすることで、

目当ての女性が僕に惹き付けられることが多いのだ。

おそらく、こうやって冗談っぽく口に出すことで
逆に真剣にとられない感じで相手に好意が自然と
伝播していくからかもしれない。

実は、女性に対する気持ちは秘めておくものではなく、
こうやって口外していった方が上手くいくのだ。

なぜかという、全体がなんだかそんな雰囲気になってくるから。

僕の好意が伝播していき、
相手の女性と僕が付き合うような感じの雰囲気になってくるからだ。

僕はセンターで働いているが、
これが別の職場でも、学校や何かのサークルでも同じ。

「かわいい」という風に気持ちを口外しておくことで、
相手もなんだかそんな雰囲気になってきて、相手の女性と付き合える確率が高い。

そう、実は、相手の女性を落とす準備は、
相手の女性と深く仲良くなる前からスタートしているのだ。

相手の女性と仲良くなると同時に、
こういうことをやっていくと相手の女性の恋愛感情を盛り上げることができる。

周囲を僕の恋愛成就に巻き込みつつ、女性と仲良くなっていく。

おそらく、他の男にはない発想だろう。

だから、僕は狙った女性がいたら、
必ずその女性のことを「かわいい」と言って回ることにしている。

こうやって、僕とエマは少しずつ仲良くなっていき、
そして周囲にエマのことを「かわいい」と言って回ることで、
彼女を落とす準備をしていったのだ。

そして、9月に入り、
もっとエキサイティングなイベントが起ころうとしていた。

それは、飲み会だ。

中津くんというお調子者の同僚が、
こういった計画を企画していたのだ。

僕のセンターはそこそこ大きなセンターなので、
飲み会の人数は少なくとも15人は集まる。

当然、エマを呼ぶっきゃない。

そこで、一気に仲を深めようという魂胆だ。
この飲み会でエマの連絡先が聞ければ結果は上々だろう。

エマと出会って約1週間ぐらい。
別に飲み会に誘ってもいい頃だろう。

僕はエマに声を掛けてみた。

「ねえ、今度飲み会するんだけど、よかったら中村さんもどう？」

この頃はまだ中村さんと呼んでいた。

すると、こういった返事が返ってきた。

「あの飲み会のことですか？中津さんに飲み会誘われて私も行きますよ？」

なんと、既に中津くんが誘っておいてくれたのだ。

さすが中津くん(笑)

そして、僕が相手を落とせるかどうかの見極めをしているのが、
この飲み会である。

基本的に、飲み会に参加してくれる女の子は
落とせる確率がとても高い。

なぜなら、社交的な女性が多く、
そういった女性は男性に対して恋愛感情を持ちやすいからだ。

正直、僕はエマが大人しい感じの女の子だったので、
飲み会には来ないかもなぁ…と思っていたのである。

しかし、僕の誘いではないにしろ飲み会に来てくれることになった。

これはチャンスである。

飲み会で一気に仲を深め、
そこから僕のことを好きになってもらおうと考えたのである。

ちなみに、どうやって仲良くなろうと考えていたのか？

それは、彼女のどういったところをからかったりイジったりして、
仲良くなろうかなぁと考えていた。

実は、このからかったりイジったりという、
相手をバカにしたような行動は非常に重要なのである。

なぜなら、相手と打ち解けることができるから。

からかったりイジったりすることで、
相手と瞬時に打ち解けることができるからである。

こちらがからかったりすれば、
相手もそういう風に接していいんだな、
という感じで向こうも僕のことをからかってくれるようになる。

つまり、そこで打ち解けた関係を築くことができるのだ。

世の男性は、この女性をからかったりイジったりということをまったくしない。
好きな女性となるとなおさらだ。

でも、からかったりイジったりすることで、
急速に打ち解けることができるし、お互いが気兼ねなく、
楽しく一緒にいることができるようになる。

なんで、世の男性はもっと女性をからかったりしないのだろうか。

みんな、ヘンな口説き文句やメールの打ち方、
デートスポットに躍起になって、こうやって相手と打ち解けるということをしない。

相手と打ち解けなきゃ、ヘンな口説き文句も
ただのキモい鳥肌モノの不快な言葉に変わってしまうし、
いくら景色のキレイな写メやデコメ、そしてすばらしいデートスポットに行っても
女性が感動することはない。

「2人で一緒にいることが楽しい」

それが、恋愛を成功させる上では欠かせない考え方だ。

2人で一緒にいることが楽しいと感じることができてはじめて、
こういった口説きやメール、デートなどのテクニックが生きてくる。

2人で一緒にいて楽しいと思えるようになれば、
こちらが口説いたときに相手もそれに対して応じてくれやすくなる。

そして、写メや素敵なデートスポットに連れて行った時も、
女性に対して大きな感動を与えやすくなる。

なによりもまず、女性と2人でいて楽しい存在になることだ。

そのためには、からかったりイジったり、
意地悪なことを言ったりするのが手っ取り早い。

からかうことで、女性との近づきがたかった関係を
一瞬で解凍することができる。

とりあえず、僕は目の大きさを「天然のカラコン」とか言って
からかってやろうかなと考えていた。

そして、飲み会の席でエマの近くに座って、
テキトーにからかってやろうかなと考えていた。

しかし、飲み会当日。トラブル発生。

事情があって、1次会は参加できず、
2次会のカラオケから参加した。

そして、2次会に参加するや否や、
遅れてきた僕に対してみんながガンガン酒を吞ませてきた。

それから先はあんまり記憶にない。

でも、2次会に参加していたエマの横に座って、
何か絡んでいたような気がする。何をしゃべっていたのかは覚えてない。

しかも、腰に手を回して。

その時エマは対してこの行動に退いている感じはしなかったが、
そんなに仲良くない僕がこういう風に腰に手を回して絡んでくるなんて
ビックリしただろう。

ヤバイ、これは嫌われたかもしれない…。

からかうも仲良くなるもクソもない。最悪の飲み会である。

次の日、僕は周りの同僚に失態を聞かされて内心相当焦っていた。

「お前、中村さんにベツタリ引っ付いてすごかったぜ(笑)
ちょっとアレはヒドかったぞ?(笑)」

中津くんがこう言う。

僕は、エマのことをサラッと聞いてみた。

「え、中村さんイヤがってた？」

すると、中津くんが

「まあ、実際のところ別にイヤそうにはしてなかった感じだったけど。
楽しんでたみたいだったし、そんなに気にしなくていいんじゃないか？
酒の席だしな(笑)」

それを聞いて内心ホッとした。

とりあえず、エマが出社してきたので、
僕はこの飲み会のことを謝ることにした。

気にしていなさそうな感じだったので、
サラッと軽く謝ることにした。

「この前はどうも、ホントごめんね？俺、ヒドかったでしょ？(笑)」

すると、エマはこう返してきた。

「フフッ、結構ヒドかったですよ(笑)」

あ、本当に気にしてなさそうな感じだ。

それを読み取った僕は、すかさずこういった話の流れに持っていった。

「もう、みんながあんなに吞ませるから。俺は悪くないっ(笑)

エマちゃんも吞ませたでしょ？俺覚えてるからね(笑)」

こんな感じで意地悪を言ったのである。

するとエマはこう言った。

「ええっ！？吞ませてないですよぉ(笑)

芹沢さんが勝手に吞んでつぶれた、って感じでしたよ？(笑)」

そして、僕はこう返した。

「ああ、そこで止めなかったから俺つぶれたんだよ？(笑)

これ、責任とって今度なんかウマイ物おごってよね？(笑)」

で、エマも冗談っぽく、

「えーっ？わたしがおごるんですか？イヤですよぉ(笑)」

こんな感じで、あの最悪の飲み会をネタに楽しく話をすることができ、

こうやって打ち解けることができたのである。

ここで注目して欲しい点は2つ。

36days_story **How to Succeed with Her ?**

ひとつは、「エマちゃん」と呼んだことである。

飲み会をきっかけに、
中村さんと呼ぶのはよそよそしい感じがしたので、
もう名前で呼んでいいかと思ってこう呼んだのである。

実は、こうやって相手をニックネームで呼んだりすることは非常に大切。

相手をニックネームで呼んだりすることは、
それだけ相手と仲良くなっているという仲の深さを表していると言ってもいい。

しかも、この時点でエマのことを「エマちゃん」と呼ぶのは
男では僕しかない。

もし、好きな人・狙っている女の子がいるとすれば、
絶対にこういったニックネームで呼んであげた方がいい。

相手もそれに応じて、どんどん惹き付けられていくからだ。

こういった飲み会などのイベントの後は、
相手をニックネームで呼んだりする大きなチャンスになる。

そしてもうひとつの注目して欲しい点。

しれっと誘っていることに気が付いただろうか？

実は、「責任として今度ウマイ物おごってよね(笑)」と言って、しれっと誘っていたのである。

別に約束は取り付けていないが、
こうやって「今度おごってよね」ということで
相手をデートに誘うための布石を打つことができる。

つまり、相手をデートに誘いやすくなるのだ。

相手を何の前触れもなく、デートに誘おうとして失敗する男性はとても多い。

「ゴメン、その日は用事があって…」とか、
そういった理由で断られて結局誘えないままあきらめてしまうことが多い。

しかし、この断り文句はだいたいウソである。
相手の男性を傷つけないための、女性の最大限の配慮なのである。

では、なぜ失敗するのか？

なぜ、多くの男性は好きな女性をデートに誘えないのか？

それは、女性側に心の準備をさせておくということをしないからである。

女性は急に、何の前触れもなく男性に誘われると、
心の準備ができていないためその男性の誘いを断る傾向にある。

でも、こうやってあらかじめ

「今度何かおごってね(笑)」と冗談っぽく誘っておくことで、
相手の心の準備をさせておくことができるのだ。

こうやって、しれっと誘っておくことで、
デートに誘える確率は格段にアップしている。

この方法を使い出して、
今まで僕がデートに誘えなかったことは一度もない。

今回もこの方法を使って、
ちょこちょこ誘っておくことでエマをデートにまで
持ち込もうとう魂胆である。

おそらく、この調子でいけばもう少しでデートに誘えそうな感じである。
いや、デートみたいな大掛かりなものではなく、2人でごはんに行ったり
するだけでも十分だ。2～3時間あれば十分に仲を深められる。

飲み会では仲を深められなかったが、
飲み会後のこういった会話で一気に仲を深めることができた。

エマに意地悪なことを言い、エマをニックネームで呼び、
エマをしれっと誘ってデートに誘う準備をする。

なんだかんだで、あの飲み会は重要なターニングポイントだったのだ。
僕的には最悪な飲み会だったが、なんとか利用して次に繋げることができた。

さて、これからどんな感じで仲をもっと深めていこうか…

とても楽しい展開になってきた。

First Date

あの波乱の飲み会から、僕はエマをからかったりできるようになり、僕とエマは急速に打ち解け、エマも僕に軽口を叩いてくるようになってきた。

そして、あの飲み会から1週間ほど経った時のこと。

またひとつ、エマとの仲が進展した。

結論から言うと、僕はエマをデートに誘うことができたのだ！

と言ってもものすごい大掛かりなものではなく、2人でごはんを食べに行ってその後エマの家の近くまで送っていったみたいな、そういった簡単なデートだが、それでも大きな一歩を踏み出すことができた。

一体、どうやって誘ったのか？

実は、かなりテキトーである(笑)

36days_story **How to Succeed with Her ?**

もちろん、「おごってよね」みたいな感じで
ちょこちょこ誘ってきたというのもある。

でも、エマを誘ったのはこんな流れだった。

僕はエマに、「おなかすいた？」と聞いた。

するとエマは、「はい、おなか空きました」と答えてきた。

そこで僕は、「何が食べたい？」と聞き返した。

エマは、「うーん、辛いものが食べたいです(笑)」と答えた。

どうもエマは辛いものが好きらしい。

「へー、辛いもの好きなんだ」みたいなことを言って、
そしてこう続けました。

「あ、そしたら、これ終わったらそれ食べに行こうか？(笑)」

すると、エマはちょっとびっくりした感じで

「え、今からですか？」と返してきた。でも、即座に

「いいですよ」と了承を得ることができたのだ。

実を言うと、冗談のつもりで「今から食べに行こうか？」と

エマを誘ったのだが、エマが食いついてきてオツケーをもらうことが
できてしまった。

36days_story **How to Succeed with Her ?**

本当は「今から食べに行こうか？」と言って、
エマに「今からはムリですよ」と断られて、「じゃあ今度みんなでね」という
流れで連絡先をゲットするつもりだったのに。

さすが恋愛、自分の思ったとおりに事が進んだことなんて
今までで一度たりともない。

恋愛っていうのは、絶対に自分の思い通りに事が進まないもの。

その場のなりゆきに任せていた方が上手くいくのだ。

これも、相手が今オッケーって言っているのなら
当初の予定、つまり連絡先を聞くということを変更して
デートに行くべきである。

そして、僕の誘い文句のひとつ。

相手に「今何が食べたい？」と聞いて「じゃあ、今からそれ食べに行こうか？」と
いう誘い方は、僕がよく使う方法なので参考にしてみたい。

これならダメだった時に「じゃあみんなで行くから連絡先を」みたいな感じで連絡
先ゲットできるし、僕みたいに即オッケーをもらうこともできる。

つまり、どっちに転んでも最低連絡先は聞ける。
デートが付いてきたらラッキーだ。

36days_story **How to Succeed with Her ?**

このように、相手を誘うときのコツは、
必ず口実をつけるということが大切だ。

さっきも言ったが、世の男性は女性を誘うのが基本的にヘタである。

「今度さ、ごはん食べにいかない？」

唐突にこうやって誘ってしまうと、
相手の心の準備ができていないので相手が警戒するどころか、
口実もないので「え、何で私と？」と女性は疑問に感じる。

これを解消するには、常々「おごってね」みたいな感じで
冗談っぽく誘っておき、そして僕みたいにテキトーな口実を付けて
デートに誘えば、女性から「ちょっと予定が…」みたいなワケの分からない
理由で断られることはない。

僕が誘った中では、

「地球サミットを開こう(笑)」みたいな感じで誘ってしまったこともある(笑)

誘う口実はテキトーでいい。

テキトーな方が相手もそれに応じやすいし、
こちらの誘いに乗ってきやすくなるからだ。

さらに、普段からかったりイジったりしていることで打ち解けておけば、
なおさら誘いに乗ってきやすくなる。

普段の接し方と、常々誘っておき、そして口実をつければ
まず断られることはない。

そして、僕らは近所の居酒屋でごはんを食べることにした。

居酒屋では、いろんな話をした。

おっちょこちょいでいつもドジをする上司の話や、
中津君の話、仕事の話など、そんな話をしていた。

この話と同時に、僕はある2つの話をして、
彼女を惹き付けようとしたのである。

1つは、自分自身の誰にも言えないような話である。

実は、この時僕は病気の母を抱えていた。
(今はもう亡くなってしまったが)

1人っ子で父親がいないので、
僕が基本的に母親の面倒を見ないといけなかったのだ。

僕がこういう話をすると、エマは
「えっ、そうだったんですか？なんか意外ですね、大変そう…」
と、こう言ってくれた。

そう、僕の普段の姿はかなりテキトーな感じである。

意地悪を言ったり、誰かをからかったりして、
テキトーな感じで楽しい感じでいろんな人と接している。

時に言われる。

「悩みなんてないでしょ？(笑)」みたいな感じで。

そして僕も答える。

「そーね、悩みなんてないよ(笑)」という風に。

でも、実は悩みだらけなのである。

夜中は母親の容態が変化しないか常に気を張っておかなければならないので
ロクに睡眠をとることもできず、ホームヘルパーが来るようにはなっていたが、
基本的なことは僕がやらなきゃいけない。

この時は本気で大変だった。

本当に心が折れそうなときもあった(汗)

しかし、こういった姿は普段はまったく表に出さない。

僕自身、周囲に気を遣わせたくないから表に出さなかったのだが。

でも、大切な人や「この人なら…」と思った人には
打ち明けるようにしている。

どのみち、仲良くなったら僕の事情を知ってもらわないといけなくなるからだ。

そして、普段テキトーな感じで接している僕が、
実はこういった深刻な状況下に置かれていることを知ったとき、
人の感情は揺れ動く。

「ああ、実は大変な人なんだ、意外だな…」というように。

そしてもうひとつ。

僕はエマの仕事ぶりをホメにホメた。

実際、エマは入ってきたばかりだというのに、
結構テキパキしていて仕事が早いことで僕らの間で評判だった。

特に、電話がたくさん入ってくる日などは
どんどん仕事をさばいてくれるので、かなり重宝する存在にまでなっていたのだ。

だから僕はここぞとばかりにエマを真面目にホメた。

「エマちゃんがいると、忙しいときも仕事回せるし、
ホント助かるんだよねー！普段こんなこと俺言わないんだけどさ(笑)
でも、本当にエマちゃんがいると安心して任せられるよ」

ちなみに、「普段こんなこと言わないんだけど」という言葉も
ちょっとポイントである。

こういった言葉を付け加えることで、

「あなたにだけ特別にホメてるんだよ」という限定した感じを出すことができる。

この限定性は、実は2人の仲を一瞬で深める効果がある。

エマも僕のホメ言葉に対して、

「私がお仕事で役に立っているなら嬉しいです」と答えてくれた。

これで、僕とエマの関係はとても強固なものになったはずだ。

こんな感じで、初の2人きりの食事会は終わり、

エマを家の近くまで送っていくことにした。

当然、連絡先も聞くことができた。とても大きな進歩だ。

恋愛において、このように真面目な話をするということはとても大切である。

自分の中のちょっと人には言えない話をしてみたり、

相手を真面目にホメてみたりなど、そういったことをするのは

好きな女性を惹き付ける上で重要なファクターになる。

普段の接し方の8割ぐらいは楽しくてテキトーで、

からかったり意地悪したりして明るいキャラで相手と接する。

そして、残りの2割ぐらいは、

こういう風に真面目な感じで接する。

そうすることで、

自分の深さがより相手に伝わり、相手はその深さに惹き付けられることがあるのだ。

人には言えない話をすれば、

「この人って、意外と苦労してきてるんだなぁ」と思わせることができ、

真面目に相手のことをホメれば、

「この人って、意外とわたしのこと見てくれてるんだなぁ」と

思わせることができる。

あんまりしょっちゅう真面目な感じで接すると、

相手は重たくなって敬遠しはじめるので、8:2 か 9:1 ぐらいの割合でいい。

普段は軽く、たまーに真剣に。

それが、あなたの人間性に深みを出して、

相手を惹き付ける方法だ。

こんな感じで、2週間ぐらいで僕はエマと

2人きりでデートすることができた。

しかし、またピンチが訪れようとは、

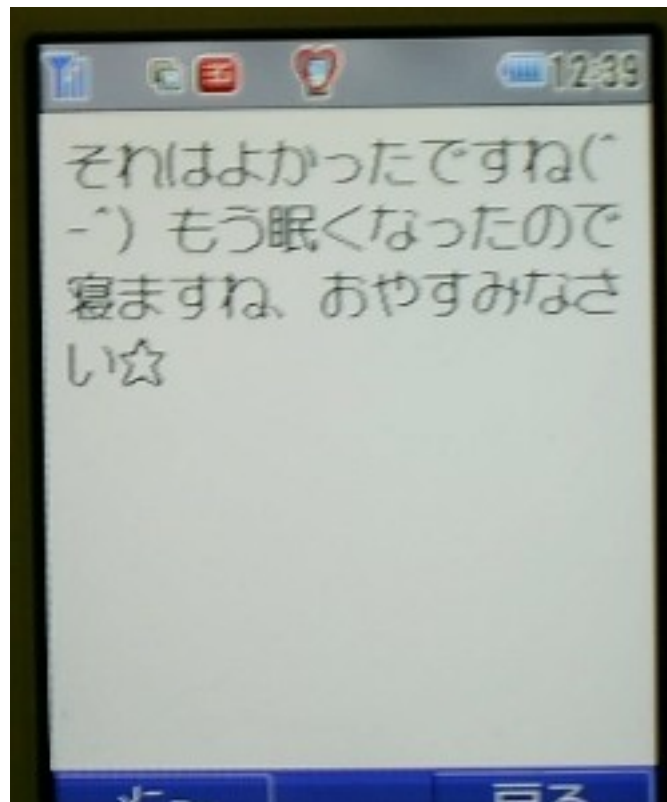
この時はまだ夢にも思っていなかったのである…

Witnessing

無事、最初のデートを終えることができた僕はちょっと浮かれていた。

でも、エマからのメールは
明らかに僕に対して気の悪いことが分かるメールで、
ちょっとがっかりした。

ちょうど、こんな感じのメールが送られてくる。



もう寝ますね、という感じで、
相手からメールを終わらされてしまっている。

1回目のデートを終わらせただけでは、
メールもまだまだこんな風にそっけない。

女の子は、はじめの段階では自分に対して気のないことがほとんど。

別にメールがそっけないことでヘコむ必要はない。
これからアツいメールがくるように、こちらが感情を動かしていけば
いいだけの話だから。

ここでヘンにヘコんでしまうと、必ず足止めを喰らってしまう。

「女は、はじめは自分に対して気がないことがほとんど」

これは法則でもあり、恋愛の心理でもあり、
そして僕を励ます魔法の言葉となっている。

僕はめげずに、最初のデートから5日後ぐらいに
またエマを家の近くまで送っていった。

こうやって、徐々に徐々に、2人で一緒にいる時間を増やすのは、
目当ての女性を自分の彼女にするためには大切なことである。

なぜなら、ちょっと考えてみれば分かることだが、
お互いが付き合えば2人であることが当たり前になるからだ。

2人で一緒にいることが当たり前。

そういう状況を作り出し、
女性を次第に惹き付けていくのも重要な戦略だ。

この時、僕とエマはとりとめのない話をした。

「仕事忙しかったね」とか、「また中津くんがさ…(笑)」みたいな会話をし、
はじめのデートの時みたいに真面目な話はしなかった。

そして、エマのこともからかってみたりした。

前から思いついていた「天然カラコン」をエマに言ってみたりした。

すると、

「カラコンじゃないですよぉ！わたしそんなに目大きくないし」
みたいな感じで反応を示してくれた。

そこで僕はすかさず、

「じゃあ、目玉のおやじじゃなくて目玉のエマだねえ(笑)」と返したりした。

でも、からかうだけでなく、きっちり相手の目の大きさを、

「でも、目大きいといいじゃん、カワイイよ？」みたいな感じで
きちんとホメていった。

すると、「わたしとかかわいくないですよお(汗)」と謙遜してくる。

そこで僕は、「また、そんな謙遜して(笑)」と返したりして、その日は楽しく過ごすことができた。

その後のメールなどでも、天然カラコンネタを引っ張っていき、それをネタにからかったり「カワイイね」と言ったりしてホメていった。

そんなことをしながら、
2回目のデートより3～4日後。

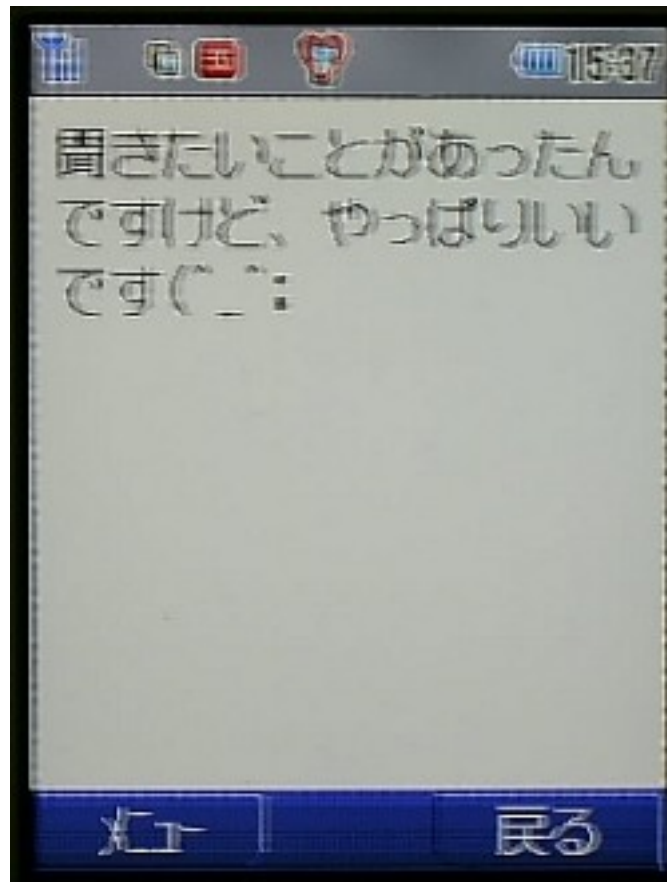
僕は別の女友達とその日待ち合わせをしていた。
その友達の彼氏の誕生日プレゼントを選ぶために付き合わされたただけだが。

まさか、この現場をエマに見られていたなんて…

次の日。

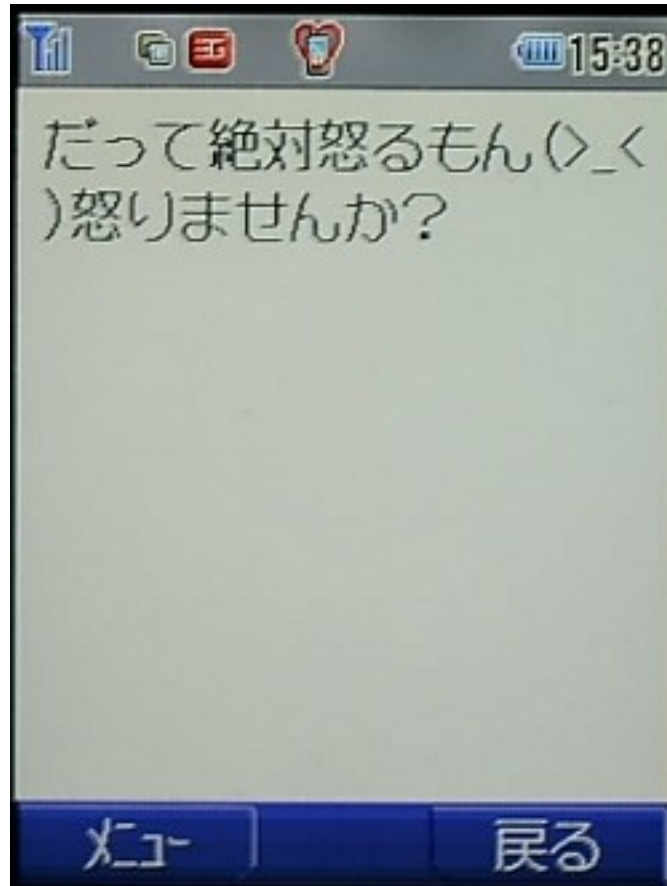
僕がいつものようにどーでもいいような内容のメールをエマに送ると、エマからこんな感じのメールが来た。

(次のページ)



僕は「一体何のことだろう?」と思って、
「え?何?」とメールを返した。

すると、エマからこんなメールが届いた。
(次のページ)



絶対怒る？うーん、ワケが分からない…

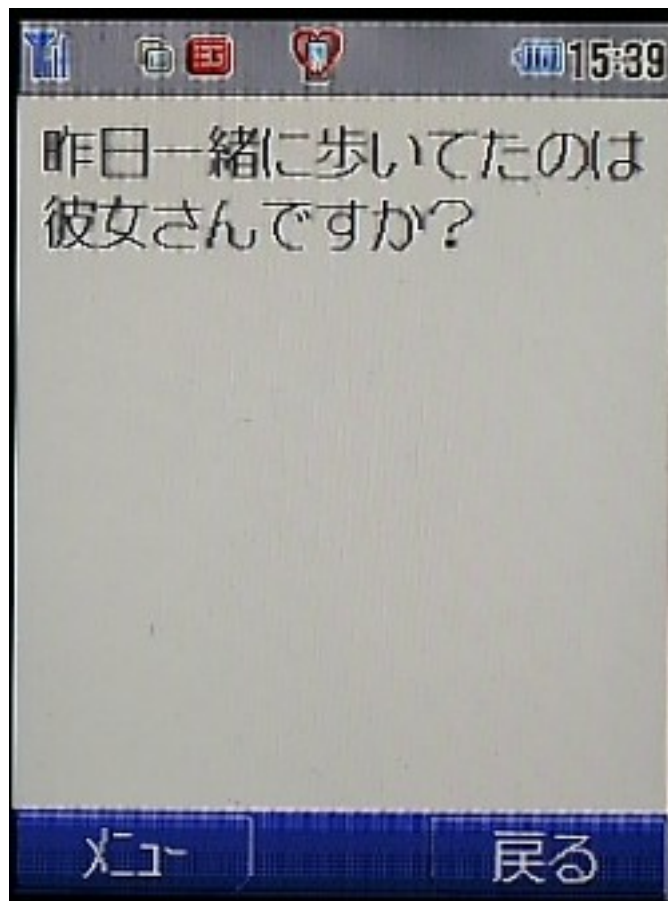
この子は一体何を躊躇しているのだろうか？

しかし、エマが躊躇している理由も、

次の衝撃的なメールと同時に僕は一発で理解できてしまい、

エマになんて返信したらいいのか分からなくなったのである。

(次のページ)



僕は一瞬「えっ!？」と思った。

まさか、昨日の女友達と買い物に行っていたのを目撃されていたなんて…

一瞬、僕は「しまった!」と思い、

何て返信したらいいのか分からなくなってしまった。

「あー、どうしよう、どうしよう…」としばらくはうろたえていたが、よくよく考えてみると、これは非常にオイシイ状況なのである。

冷静に考えてみると、
エマが僕の別の女性の存在に対して、
気にしてこういうメールを送ってきたわけだ。

ピンチはチャンスとはよく言ったものだ。
これはむしろ、チャンスなのである。

そして、このメール。

エマの脈アリメール第一号である。

初対面に近い状況で腰に手を回して酔っ払って絡んだという
マイナスポイントはあるものの、その後はからかったり人には言えない話を
したり、相手のことをホメたり「カワイイね」って口説いたり、実に
いろいろなことをしてきたわけである。

つまり、僕がいろいろなことをして、それによってエマの感情が動かされ、
次第に僕に惹き付けられている証拠だと考えていいメールなのである。

当然、このメールだけで僕のことを好きだという断定はできないが、
間違いなく僕に少しずつ惹かれている証拠だと思っていい。

「感情は、少しずつ動いていく」

自分に気がない女性を一瞬で惹き付けるのはムリな話だが、
こうやって感情を動かす接し方をしていき、少しずつ惹き付けることは
誰だってできるのである。

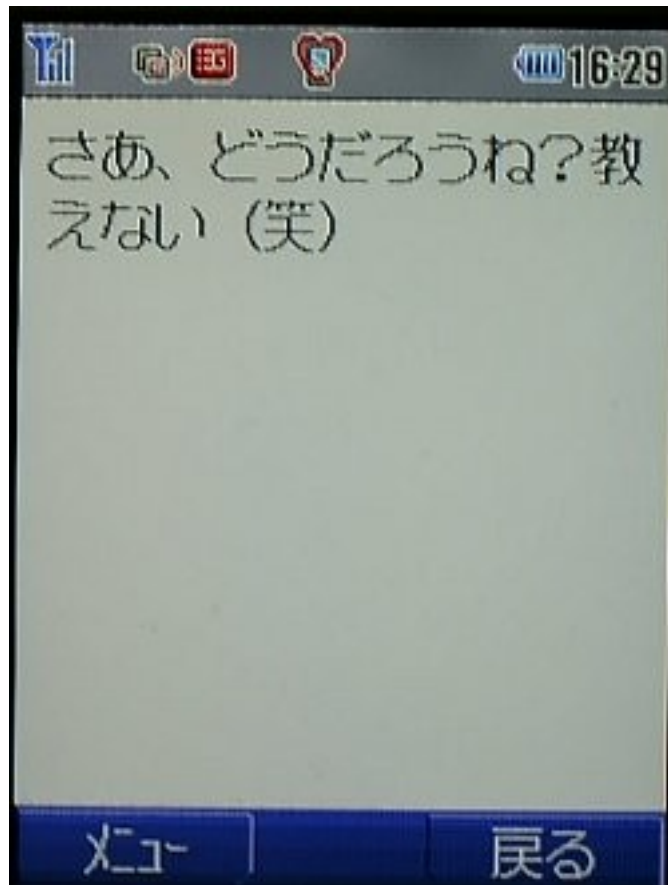
エマと出会って3週間ほど経過したわけだが、
実にいろいろなことをやって彼女の感情を少しずつ動かしてきた。

そして、本当にこれは偶然だが、
昨日僕が女性と一緒にいたところを目撃し、
実際に僕のことを気にしてこういったメールを送ってきた。

これが僕のことをなんとも気にかけていなかったら、
普通に「昨日彼女さんと一緒にいるところ目撃しちゃいましたよー！」みたいな
軽いノリでメールをしてくるはずだが、やけに聞きにくそうにして「昨日の人、
彼女さんですか？」とメールをしてきている。

そこで、僕はどういう風に返信をしたのかというと、
こんな感じで返信をした。

(次のページ)



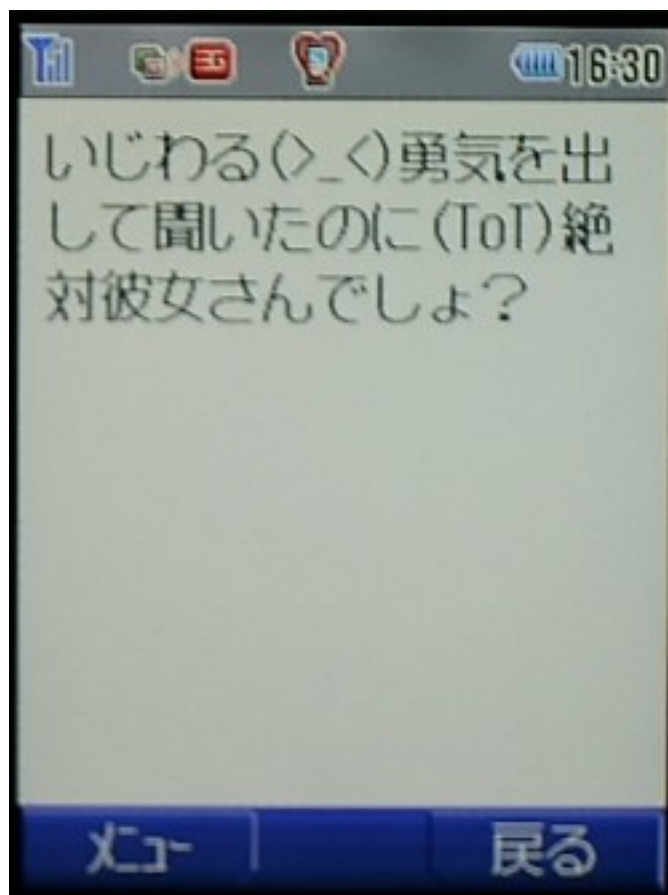
なんとも逆転的な発想のメールをエマに送ったのだ（笑）

相手は僕のことを気に掛けてくれ、
僕に彼女がいるのかどうか少し不安になっている状況なのである。

そういった状況を把握して、
その不安感を煽るようなメールを送ったというわけだ。

するとエマからこんなメールが届いた。

（次のページ）



「あ、気になってる気になってる(笑)」と、
内心ほくそえみながらこのメールを確認した。

ちなみに言うておくが、右上の時間はメールを受け取った時間ではなく、
現在時刻なので気をつけて欲しい。(多分言わなくても大丈夫だとは思ったが)

そしてこの後。

僕は3時間ぐらい経って、

あれは女友達の彼氏の誕生日プレゼントを買いについていただけだよ
ということバラしたのだ。

あえて、3時間ぐらい放置してメールを返す。

この3時間、エマの中ではかなり不安感が大きくなっていったことだろう。

メールは、いつでもどこでもやり取りができるので、
相手の女性は割りとすぐに返信がもらえるものと思い込んでいる場合が多い。

しかし、この先入観をあえてブチ壊して、
こうやって時間を置くことで相手を一層不安にさせ、
より感情を動かすことができるのだ。

ほんの3時間ぐらいの間だが、女の子によっては
耐え切れなくなって向こうからいろいろメールを送ってくることもある。

つまり、好きな女性があなたのメールを懇願し、
あなたからのメールが欲しくてたまらなくなるといった状況を
作り出すことができるのだ。

好きな女性には、メールをガンガン送ってしまう男はとても多い。

しかし、それでは相手の女性も対応できずに、
いつしか音信不通になってしまうケースがとても多い。

メールの量と間隔、そして内容を駆使することができれば、
相手の女性を惹き付けるスピードは大幅にアップするであろう。

もちろん、リアルでも会話をしたりして惹き付けていくことを
お忘れなく。メールだけで女性を惹き付けようと思ってもムダなので。

さて、こうやって僕は、
ピンチをチャンスへと転換させることができ、
エマの感情をより動かすことができたのだ。

エマと出会って3週間。

付き合うまで約12日後。

僕がどのような戦略でエマを落としにかかったのか、
引き続きご覧頂きたい。

Cold Heart

エマからの脈アリメールを受け取って、
僕は近々エマと付き合えるんじゃないかという気がしてきていた。

まあ、実際あと12日後に付き合うわけだが…

ここまでの流れを洗ってみると…

まず、出会って一週間ほどで飲み会に参加し、僕がやらかしてしまった。
まあ、でもそのおかげで仲良くなることができたんだが…

それからというもの、
僕はエマをからかったり意地悪したりして、
エマと打ち解け仲良くなっていった。

お互いに楽しく、いい感じで軽口を叩き合える
存在になっていったのだ。

そして、それから一週間後、
僕はエマと初めてデートをすることになった。
と同時に、連絡先ゲット。

そこで僕は、自分の中でのなかなか人に言えない話や、
エマを真面目にホメてみたりしてエマの感情を動かそうと目論見た。

で、その4～5日後にエマを家の近くまで送っていき、
エマを「カワイイ」と口説いたりしている。

実は、メールでもちょこちょここと、
「カワイイ」とかそういったことをメールしていった。

そして、2回目のデートというか、エマを家に送っていった
3～4日後に女友達といるところを目撃されてしまった。

そこで僕はこのピンチをチャンスに換え、
不安感を煽りエマの感情を動かそうとした。

こんな感じで、僕とエマは徐々に徐々に近づいている気がする。

よし、そしたら、
今度はこの近づいている距離感をブチ壊す時だ。

「はあ？せっかく仲良くなっているのにブチ壊すとか、何言ってるんだ!？」

あなたはこう思ったかもしれない。

しかし、今からお話する方法はあまりにも過激で、
使うタイミングによったらあまりにも効果があり過ぎるので
好きな女性に乱発して相手の女性を泣かせないようにして欲しい(笑)

僕は、狙っている女の子とめっちゃめっちゃ仲良くなってきたら、
女の子に対して冷淡に接するようにしている。

まあ、これは時と場合にもよるし、
別に冷淡に接する必要がなければそれでいいのだが、
こういった冷淡に接することによって相手の感情を
MAXレベルに動かすことができるのだ。

そして、一旦冷淡に接しておいて、
また元通りの接し方に戻る。

すると、相手は安心するのだ。

「よかった、嫌われていたわけじゃなかったんだ」みたいな感じで。

そして、より一層惹き付けられる。

あなたにも経験がないだろうか？

普段怖いと思った人からとても優しく接されて妙な親近感というか、
安堵感を覚えた経験は。

そして、そういった人は、
必ず印象に残り、なぜか惹き付けられていく。

これを、好きな人にもやっていくのだ。

実際僕がどうやったかというと、
かなり過激なので心臓の弱い方は見ない方がいいかもしれないが…

まず、一切口を利かない。

口を利いても、そっけなく返したり
ちょっと怒った感じで接したりする。

例えば、エマが仕事のことで「これ、どうやって処理するんですって？」
みたいな感じで聞いてきたら、

「もう入社してしばらく経つでしょ？」

それぐらい人に聞かないで処理できないとさ、どうすんのよ？」

そして、エマが失敗しようものなら、

「あのさ、何やってんの？マジで」

みたいな感じでキレた感じで接する。

エマも当然、恐縮した感じで

「ごめんなさい…」と言いへこみながら仕事に戻る。

おそらく、今まであんなに優しくかったのに、
なんで急に冷たくなったんだろ？と思っているに違いない。

そして、メールも一切送らない。

こういった接し方を5日間ぐらい続けた。

はたからみたらただのイヤなヤツだし、

好きな女性にわざわざこんな嫌われそうな接し方をする男なんていない。

しかし、だからこそ感情を動かすことができる。

僕としても、ただ闇雲に冷淡に接しているわけではない。

しっかりと、はじめの方で仲良くなっておいてから、
このように冷淡に接して感情を動かしているのだ。

テクニックしか考えていないよくある恋愛マニュアルは、
「冷たくすれば女を惹き付けられる！」という風に書いてあったりするが、
実際はそうじゃない。

これをマネしたって、単に女性から嫌われるだけである。

ちゃんと、はじめの方にめちゃめちゃ仲良くなった上で、
はじめて冷淡さが生きてくるということを押さえておかないと、
女性の感情を動かすことはできないのだ。

普通なら確実に嫌われる接し方だが、
あらかじめ仲良くなっておくことでこういった接し方も生きてくる。

目当ての女性の感情を動かし、
あなたの彼女にするには冷淡に接するのも欠かせない接し方なのだ。

そして、約5日後。あれだけ冷淡に接していたのに、
僕はいきなりエマにジュースをおごってあげた。

「はいこれ、今日も忙しかったし、いろいろ頼んじゃったからね」
という風にして、缶ジュースをおごってあげた。

もちろんエマとしてはビックリである。

今まで冷たくされてたのに、いきなりジュースをおごられるとは、
まったくもって思ってもみなかったことだっただろう。

そして、労いのメールを送った。

「今日もおつかれさん」みたいな感じで。

すると、エマは「ジュースありがとうございました、嬉しかったです！」みたいな
メールを送ってきた。

かわいいヤツめ、と思いながらメールを見ていたワケだが(笑)

おそらく、今回の策も成功しただろう。

エマとの関係にかなりの手ごたえを覚えているときに、
エマに冷たくしたからだろうか、せっかく会社が休みなのに、
天罰のように腹が痛くなり、熱が出てしまった。

しかし、これがエマとの関係をさらに進展させる出来事になろうとは…

Stomach Each

「マジで腹が痛い…

たまの休みなのに、何で俺がこんな目に…」

かなりつらい状況、そして熱がある。

薬も一応飲んだが、あんまり効果がないみたいで、
病院にでも行こうかどうか迷っていた時。

僕はエマに、「腹が痛い…カゼひいたかも」といったメールを送った。

すると、「大丈夫ですか？本当にムリっぽかったら言ってくださいね？」みたいな優しいメールが来た。

ああ、これは癒される…

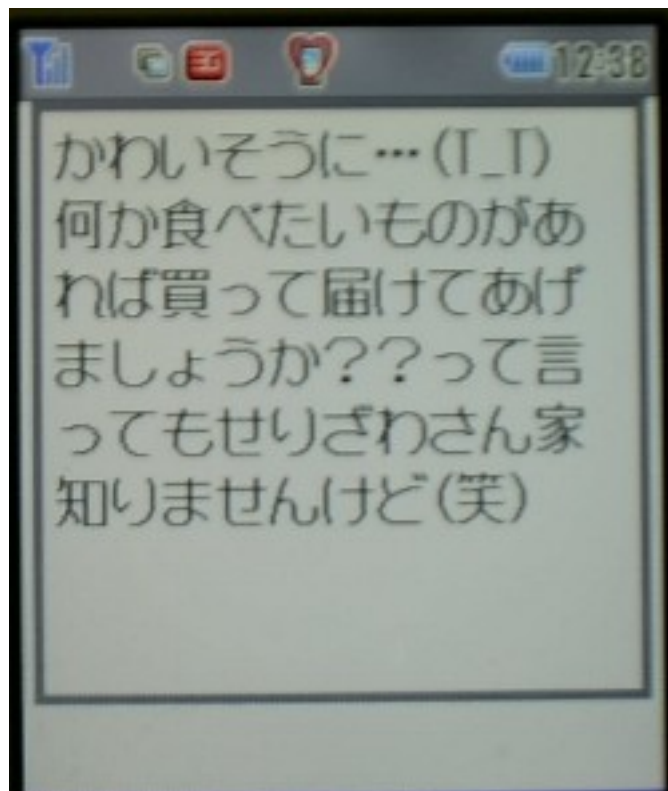
別にムリじゃなかったが、僕は冗談半分で、

「うーん、ムリっぽいかも…」みたいなメールを送った。

すると、このような衝撃的なメールが来た。

そう、ついにあの脈アリまくりのホットなメールが送られてきたのだ！

エマと出会って、約30日目ぐらいのことである。（次のページ）



このメールを受け取ったとき、マジでビビった。

「は？ウチに来るの？」

明らかに、エマは恋愛に疎い感じで、
例え僕のことを気に入ってくれたとしても付き合う前に僕の家に来たりするような感じではない。

冷淡に接したことが、彼女の不安感を焚き付けて、
このような行動をするように激しく火を点けたのだ。

36days_story **How to Succeed with Her?**

僕は腹が痛いことなんか忘れて。「やったー！」と一人で喜んでた。

実際、エマがきたのは一瞬だけだった。

今から用事があるからと言って、
とりあえず弁当らしきものとゼリーを買ってきてくれた。

これは本当に嬉しかった。

おそらく、エマはこの時点で僕のことを好きだったんだろうと思う。
(本人に聞いたら、この時点では好きかどうか分からない状態だったらしいが)

エマと付き合うまであと6日。

身長170cmのモデルのような美女を手に入れるまで、
残すところあと6日となった。

さあ、こんなに分かりやすい脈アリサインが彼女から出ているのであれば、
後は押して押して押しまくるしかない。

一体、どうやって付き合うまでの関係に持ち込むことができたのか？

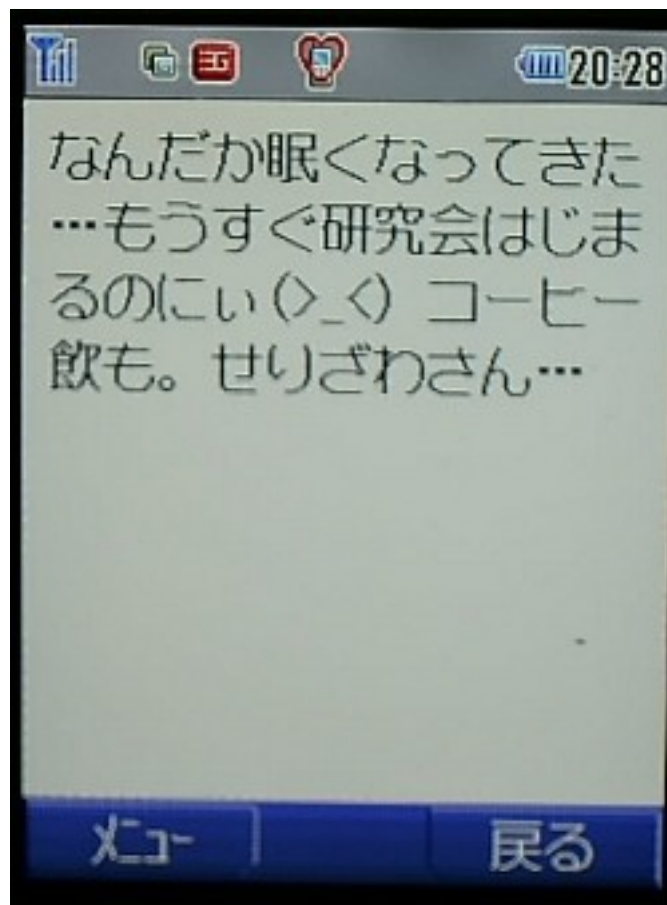
その点を具体的に、解説していくことにしよう。

The Day of 36th

あの後から、かなり大きな変化が起きた。

メールが、エマの方から送られてくるようになった。

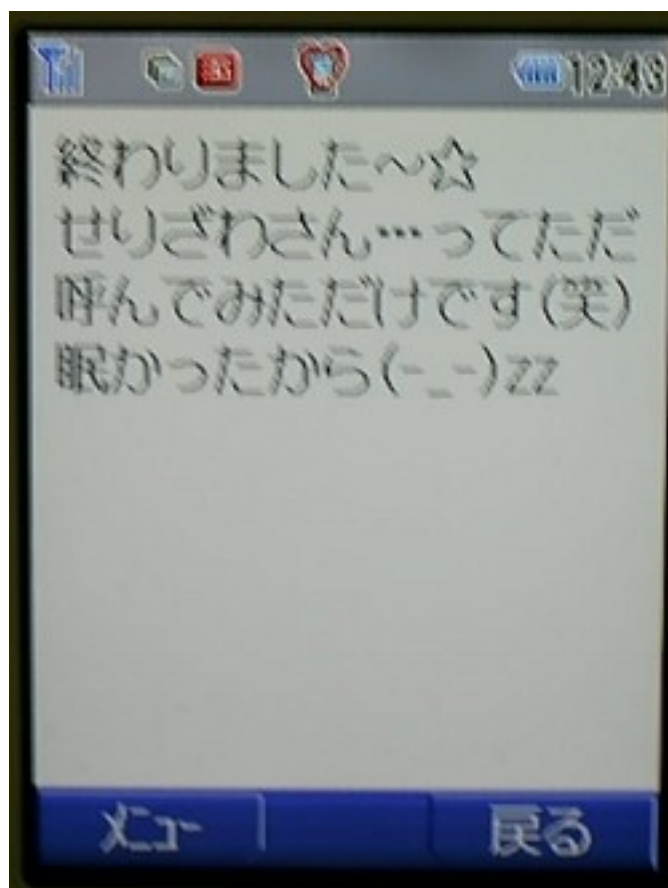
しかも、こんな脈アリメールを。



名前を呼んでくれるとは…

僕はこのメールに対して、「何？呼んだ？何か用？」みたいなメールを返した。

すると、しばらくしてこんなメールが来た。



うーん、かわいいヤツ(笑)

こういったメールを見ながら、半ば僕は勝利を確信していた。

36days_story **How to Succeed with Her ?**

そして、今度デートに行こうという話をしていた。

打ち合わせをするために、僕はエマに電話をした。

するとそこで、エマから思いがけないショッキングな言葉を聞くことになったのだ。

「私って、恋愛に疎いから、恋愛感情とか芽生えないんですよ～」

僕は愕然とした。

「おいっ！ここまで脈がありそうな感じで俺に接しておいて、それはないだろう！」という、怒りの感情が湧き上がってきた。

しかし、僕はこの言葉に対して、冗談っぽくこう答えた。

「ああ、そうなん？じゃあ、俺が愛をあげるよ(笑)」

後でエマから聞いてとても驚いたのだが、実は、この言葉がエマの心を僕に決めさせた言葉となったらしいのだ。

じゃあ、恋愛感情が芽生えないみたいな話は一体なんだったのかって？

これは、女性特有の、

「今思ったことをただ単に口に出している」という特性である。

女性というのは、別に悪気がなく、

「今思ったことを吟味せずにそのまま口に出す」ということがよくある。

例えば、「あの人、カッコいいよね〜！」と女性が口に出したとする。

その場ではカッコいいと想着いても、

よくよく考えたら「別にカッコよくなかった」と寝返るケースは多々ある。

別に女性としてはウソを言っているわけではない。

ただ単に、よく吟味せずその場で思ったことを口に出しただけに過ぎないのだ。

「乙女心と秋の空」なんて、よく女性は心変わりしやすいなんて言われるが、実際はこういった背景があって、この行動がさもすぐに心変わりしたように感じるだけなのだ。

だから、僕は女性の「あの人、カッコいいよねー！」という言葉信じない。

そして、僕に対する「芹沢君って、カッコいいね！」という言葉もあんまりアテにしていない。

このエマの言葉もそうだ。

言葉をよく吟味せずに、

「私って恋愛に疎いから、恋愛感情が芽生えにくいんですよー」とただ単に口に出しただけに過ぎないのだ。

それに一喜一憂しては、女性との関係を先に進めることはできない。

(まあ僕は少し取り乱してしまっただけだが)

とりあえず自分が不利に感じるような発言は僕がやったみたいない感じで冗談っぽくスルーして、冗談っぽく返したりして間に受けないようにするのだ。

すると、結構いい結果が生まれる。

なぜなら、スルーして気にしないことで前進し続けることができるから。

あなたがあきらめない限り、前に進み続けることができるので、いずれ女性はあなたに惹き付けられ、女性と付き合うことができるのだ。

僕のように、自分にとって不利な発言、批判、非難などを冗談っぽくスルーする能力は人間関係を円滑にすることにおいてかなり重要なことだと思う。

さらに、この能力は人によって「魅力」と捉える人がいるから驚きだ。

まあ、これ以上話をすると脱線してしまうので、このことは次の機会に話そうと思うが、とにかくこの「愛をあげるよ」というクサイ(笑)セリフで彼女の気持ちを僕に固めることができた。

当然、これは後で聞いた話なのでこの頃の僕はこの事実を知らない。

とりあえず、デートの約束をして電話が終わったあと、

「これ、イケるのかなぁ…」と半ば不安になっていたのを覚えている。

36days_story **How to Succeed with Her?**

しかし、そんな不安もエマに会って吹っ飛んだ。

電話をして2日後、エマとの3回目のデート。

なんと、エマの方から体をすり寄せてきたり、
やたら体に触れてくるようになってきたのだ！

「あ、やっぱり俺のこと好きなんだ、この子(笑)」

この日のデートは、僕はいつものように彼女をからかったり、
中津君の話や周囲にある面白いものに突っ込みをいれながら
楽しく過ごすことができた。

こんな写メをとりつつ(笑)



36days_story **How to Succeed with Her ?**

これはたまたま2人である時に発見したもので、

「え、何コレ！ウケる(笑)」みたいな感じで思わず撮ってしまったのだ。

ここで、ちょっと女性との会話について触れてみたい。

「女の子と何を話していいかわからない…」

「女の子との会話が續かない…」

そういう男性は、少なからず視野が狭い時がある。

実は、外に目を向ければ会話のネタなんてそこら中に転がっているのである。

道行く何の関係もない通行人に注目してみたり…

女性と入ったお店の店員やお店の雰囲気などに注目してみたり…

この写メのような、モアイに注目してみたり(笑)

女性の方に意識を置きつつ、「何か会話のネタになる面白いものはないか？」

みたいな感じで周りを探っていると、1つや2つはネタになるものが転がっている。

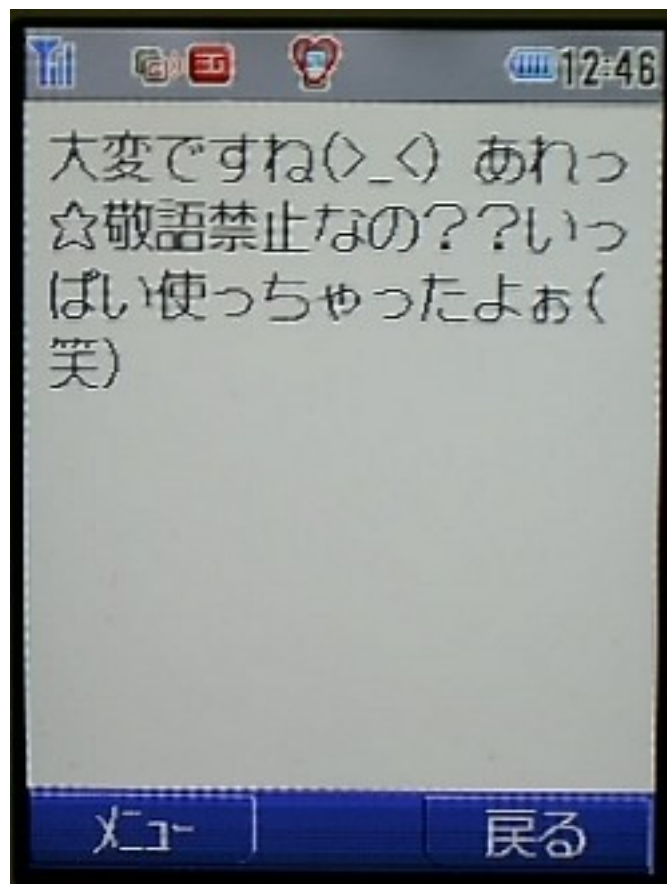
こういった会話のネタを見つけるクセがつくと、

絶対に会話に困らないようになるので是非あなたもやってみて欲しい。

そして、デートを終えて。

僕はエマにある禁止令を出した。

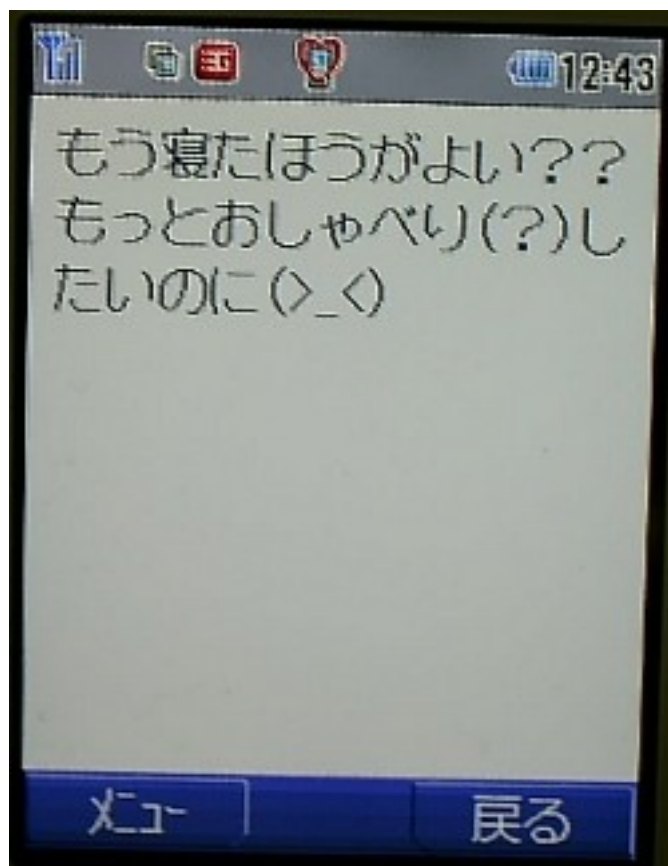
それは、こんな禁止令だ。



ついに、僕はエマに敬語禁止令を出した(笑)

36days_story **How to Succeed with Her?**

その後もとりとめのないメールを続けていたが、
エマからこんなメールが来るようになった。



おしゃべりというのはメールのやり取りのことである。
(だから?マークがついているのだが)

この時僕は、

「エマちゃん美容と健康のために寝た方がいいよ、せっかくかわいいんだから」
みたいなメールを送ってダメ押し的な感じで口説いていった。

これはもう完全に両思いである。

「次のデートで決める…！」

そして、このデートの2日後にまたデートをしてしまった(笑)

デートというか、単車の後ろに乗っけていろんなところをツーリングして回っただけなのだが、これがエマと付き合うきっかけを作ってくれた。

そう、エマと出会ってよいよ36日目である。

僕とエマはツーリングを楽しんだ後、とある海辺へと向かい、海辺でとりとめのない話をしていた。

秋も深まっており、夕方になると若干肌寒くなってきた。

「寒いね、手冷えてない？」みたいな感じで、僕はエマの手をとった。

エマは僕が手をとると、ジッとこっちを見てきた。

そして僕はそのままエマを抱きしめて、キスをした。

エマと出会って36日。

僕はエマと付き合うことになった。

正直、こんなに短期間でエマと付き合えることになるなんて夢のように思えた。

でも、これもすべて、

僕がエマの感情を動かす接し方をやっていったからこそ、

このような短期間で最高の結果を手に入れることができた。

あなたが、女性を惹き付けるためにやることは、

ヘンな催眠術や洗脳術なんかではない。

そして、巷の恋愛マニュアルにあるような、

小手先だけのテクニックではないのだ。

あなたが好きな女性、タイプの女性、狙った女性を落とすためにすること。

それは、僕がやったみたいなの、

好きな女性の感情を動かすことである。

あなたも、この物語を参考にして、

「好きな女性の感情を動かすにはどうしたらいいか？」ということ念頭に置き、

好きな女性や狙った女性と接してみたい。

必ず、いい結果が生まれるはずだから…

Thank You for Your Reading !

ここまでお読み頂いてありがとうございました。

いかがでしたでしょうか？

結構内容的にはキモクサイ内容になってしまった感がありますが(汗)

でも、僕がこの女の子を惹き付けるために何をしていったのか、ハッキリと分かったのではないかと思います。

恐らく、ここまで克明にどうやって女性を落としていったのか、説明できる男はそういないでしょう。

こうやって直接感情を動かした方が、相手にも伝わるし一番女性を落とすのには手っ取り早い方法だと考えています。

そして、付き合ってから感情を動かし続ければ、関係を維持することができますし。

洗脳や催眠とかそういった類の方法では、まずこんな風に関係を維持することはできないでしょう。絶対に、いつかボロがでてきますから。

36days_story **How to Succeed with Her ?**

僕が今回あなたにお伝えした方法は、永久不滅の方法だと考えています。

人間の感情に則った、人間の感情を根底から動かし、
相手の女性から好きになってもらえる方法。

しかも、強烈に好きになってもらえる方法です。

だから、エマちゃんを36日というありえないスピードで落とすことができた。

他の女性も、出会って3日目で付き合ったりとか、
前から面識はあったけど初めて会話して1週間ぐらいで落ちたりとか、
感情を動かすことを念頭に置けばありえないことが起こりまくる。

だから、あなたも感情を動かすことを念頭に置いて、
ありえないことを体験しまくってください(笑)

また、このレポートを請求してくれた方には、
引き続きメールを定期的に配信したいと考えています。

配信サイクルは3日～7日に1回ぐらい。

どうしても伝えたいことが山ほどあるので、
場合によっては1回の配信量がワード10ページぐらいになることもあります(汗)

そんな暑苦しいメールが毎日送られてきたら大変なので、
3～7日に1回ぐらいのペースにしています。

このメールだけでも、
恋愛マニュアル2冊分ぐらいのボリュームになっちゃいました(笑)

そして、毎回飛び出す過激でトリッキーな発言、刺激的な方法、
特濃中の特濃メールの嵐…

ケツが破れたパンツを履き、
激臭漂う2週間も履き替えない靴下を履くことがモテる秘訣だと言ってみたり…

あなたがイケメンになる方法をこっそりと伝授してみたり…
(あ、ついでにコンプレックスを活かしてイケメンになる方法も語ってます)

好きな女の子があなたから離れられなくなる方法を
これでもかというほど伝授しまくったり…

ついには男を好きになれとか言ってみたり…(笑)

さらには極秘プレゼントも計画中。
僕が言うのもなんですが、絶対読まないで損ですわ(笑)

クレイジーかつしっかりとした裏づけのあるメールを読むたびに、
あなたはまた一歩、また一歩と魅力的な男になり、タイプの女性や狙った女性を
惹き付けることができるようになるでしょう。

あなたが、あまりにも濃すぎるメールを読んで
胸ヤケしないかが心配です(笑)

36days_story **How to Succeed with Her?**

もし、興味があったら、是非メールも読んでみてください。

そして、感想なども送っていただければ嬉しいです^^

あ、このレポートの感想なども欲しいです。

info@serizawayou.com

ではまた、引き続きメールでお会いしましょう！

お疲れ様でした。

芹沢 悠